

# ごみ減量だより

発行：稲城市廃棄物減量等推進員連絡協議会

<第9号>

## ＝向陽台地区のごみ減量・環境美化の活動＝ ～自治会・管理組合が中心となって地区環境美化を行っています～

### ① 向陽台地区夏祭りと会場ゴミの分別回収

「第22回・向陽台地区夏まつり」が、本地区の自治会・管理組合、体育振興会、小学校、中学校等が参加して8月30日（土）午後に開かれ、子供たちを中心に多くの住民が集まりました。

その際、会場で発生したゴミは、トレイ、缶、ペットボトル、びん、段ボールおよび燃えるゴミに区分して分別回収を実施し、自治会・管理組合の役員、5中のボランティア部・野球部の生徒がその作業にあたりました。



↑「ゴミ回収ステーション」の様子

### ② 「向陽台地区合同清掃」の活動



↑美化運動の写真

本地区の自治会・管理組合は、毎年12月第2日曜日に、共同で住宅地周辺、舗道、児童公園などを「一斉清掃」し、7月「環境美化デー」と同様に年中行事にしています。

ゴミ袋は稲城市環境課から支給を受け、街路樹落葉などの可燃ごみと空き缶などの不燃物を分別収集し、翌日に市役所指定業者に回収をお願いしています。

合同清掃のごみ回収量は、例年、可燃ごみ・不燃ごみの合計で、2,000kg～3,000kgとなっています。

# 市のごみ担当者に聞きました！

～市のごみ担当職員に、日頃のごみ出しで疑問に思っていたことなどについて質問しました～



質問1：普通の「電球」は燃えないごみなのに、どうして同じ照明器具の「蛍光管」だけ有害物として収集しているの？

回答1：

蛍光管には、「水銀ガス」という人の身体に有害な物質が使われています。専門の処理工場<sup>①</sup>で安全に処理するために他のごみと分けて収集しています。

「蛍光管」というと、教室の照明をイメージしやすいですが、最近では「電球型蛍光管」という、見た目が電球と同じ蛍光管があります。その場合、商品の外箱や商品自体に「蛍光管」と書いてある場合がほとんどなので、捨てる前に確認して、正しい分別区分で出してくださいね。



質問2：資源回収ステーションの看板に「つぶして出してください」と書いてあるけど、どうして缶とペットボトルをつぶす必要があるの？

回答2：

缶・ペットボトルは、つぶすことで大きさを小さくすることができます。

びん・缶・ペットボトルは、資源回収ステーションのカゴに出すこととなっていて、カゴを設置する場所などの関係から、あまり多くのカゴを設置することが難しいのが現状です。

そのままだとカゴから溢れてしまう量でも、つぶして出すことで、量を減らし、カゴから溢れるのを防ぐことができます。

資源回収ステーションは、近所の方が共同で利用する場所です。

排出マナーを守ってきれいに利用しましょう！

